

令和5年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

概 要	名 称	公益財団法人宮崎県観光協会		所在地	宮崎市錦町1番10号 宮崎グリーンズフィア壱番館3階		
	電話番号	0985-26-6100		ホームページ	https://www.kanko-miyazaki.jp/		
	設立年月日	平成16年4月1日	代表者	会長 米良 充典	県所管部・課	商工観光労働部 観光経済交流局 観光推進課	
	総出資額	280,000 千円		県出資額	107,500 千円	県出資比率	38.4%
	設立目的	国内外の観光客、コンベンション及びスポーツ大会・合宿等の誘致並びに関係者に対する支援等を行うことにより、宮崎県内における観光の振興を図り、地域経済の活性化、文化の向上及び国際交流の促進に寄与することを目的とする。					
	特記事項						

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①公社等のあり方 見直し	効果的、効率的な組織運営体制のあり方の検討	<p>(計画) 新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、県内市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、効果的、効率的な組織運営に繋げる。</p> <p>(実績) 観光協会の効果的、効率的な組織運営について検討を行った。 市町村観光協会や観光関連事業者等との意見交換を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった。</p>	<p>(計画) 市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、コロナ禍を踏まえた効果的、効率的な組織運営体制のあり方について、引き続き検討する。</p> <p>(実績) 観光協会の効果的、効率的な組織運営について検討を行った。 個別事業ごとに市町村観光協会等と適宜意見交換を行い、効率的・効果的に事業を実施した。</p>	<p>(計画) 市町村観光協会の代表等を新たに理事に加え、より広く意見の集約を図ることで、効果的な事業実施に繋げていく。また、より効果的・効率的な組織のあり方について検討していく。</p>
経営・事業 運営改善	最新ニーズの把握と効果的誘客活動展開、新たな収益確保の検討・実施	<p>(計画) 新型コロナウイルス感染予防に配慮した誘客・周遊・宿泊促進に重点的に取り組む。観光関連事業者や市町村観光協会等の声を集約しながら、必要かつ有効な事業を柔軟に実施し、本県の観光回復・振興に取り組む。</p> <p>(実績) 新型コロナウイルス感染症の影響により観光関連産業が深刻な打撃を受けている状況が続く中、宿泊施設や観光施設に対し、安全安心な受入体制の整備等への支援を行うとともに、宿泊割引やプロモーションを行い、県内外からの誘客促進等による本県観光の回復・振興を図った。 個別事業ごとに事業者や市町村観光協会に対してブロック別に適宜意見交換を行い、その意見を反映させ、効率的・効果的に事業を実施した。</p>	<p>(計画) ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた本県の観光回復・振興に向け、引き続き観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深める。本県ならではの観光資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、「将来を見据えたインバウンドへの布石」、「全県下・通年化・多種目化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援」、「みやざきMICEの推進」の4つを軸に取り組む。</p> <p>(実績) 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、引き続き宿泊割引や地域共通クーポン券の発行等を行い、県内外からの誘客促進等による本県観光の回復・振興を図った。 また、稼ぐ観光地づくりに取り組む市町村観光協会や民間事業者を支援したほか、個別事業ごとに市町村観光協会等と適宜意見交換を行い、効率的・効果的に事業を実施した。</p>	<p>(計画) コロナ後を見据えた本県の観光回復・振興に向け、引き続き観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深める、効果的な誘客活動が展開できるように努める。</p>

改革工程

② 公社等の経営見直し	財務改善	自主財源の確保策検討・実施、経費削減の実施、賛助会員の拡大	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、新型コロナウイルス感染症の影響による会費の落込みを可能な限り減らすため、協会が取り組む事業を積極的にPRするなど、賛助会員確保策に取組み、協会への期待度を高める。</p> <p>(実績) 時間外勤務を最小限にするなど、経費削減を実現した。また、協会が取り組む事業を積極的にPRするため賛助会員に「ニュースレター」を発行。しかしながら、賛助会員からの会費納入については、減額の要望が続いており、大変厳しい状況となった。</p>	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、協会が取り組む事業を積極的にPRするなど、協会への期待度を高めることにより、賛助会員確保、会費収入維持に努める。</p> <p>(実績) 時間外勤務を最小限にするなど、経費削減を実現した。また、賛助会員の維持確保のため、「ニュースレター」を発行し、協会が取り組む事業を積極的にPRした。加えて、毎年作成しているカレンダーの販売促進を図るため、掲載する写真を公募形式にするなどの取組を行った。</p>	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、賛助会員確保、会費収入維持に努めるほか、カレンダーの販売促進など、自主財源の確保に努める。</p>
	組織等適正化	組織体制の見直しの検討・実施、人員配置の見直しの検討・実施	<p>(計画) 新型コロナウイルスの感染拡大による極めて深刻な影響からの本県観光の回復・振興に取り組むため、組織体制の在り方等を検討する。プロパー職員の育成に努め、専門的知識・経験を持つ職員として確保する。</p> <p>(実績) 新型コロナウイルス感染防止対策として、リモートアクセスに対応した情報セキュリティの確保、自宅勤務の試行、オンライン会議への対応等に取り組んだ。ジモ・ミヤ・タビキャンペーンに関する電話での問合せ等に円滑に対応できるよう、電話回線の効率的な運用を図った。</p>	<p>(計画) プロパー職員の定年退職、今後の定年延長を踏まえた組織体制の在り方、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた今後の業務体制のあり方等を検討する。</p> <p>(実績) 定年を迎えたプロパー職員を再任用するなど、組織体制の維持を図った。また、コロナ後を見据えた今後の業務体制のあり方を検討した。</p>	<p>(計画) 今後の組織体制のあり方や人的配置について、県と協議しながら検討していく。</p>
③ 県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	県職員の役職就任・派遣の見直し	<p>(計画) 地域連携DMOとして広域的事業展開を進めていく必要があることから、県派遣職員の能力を生かし、プロパー職員の能力向上に努め、体制の強化を図る。</p> <p>(実績) 若手プロパー職員へのきめ細かな指導等により能力アップを図った。当協会の事業は広域行政機関に類似した部分が多く、県職員等の経験・知識を事業展開に繋げた。</p>	<p>(計画) 県観光推進課との連携、プロパー職員の能力向上に努めるため、県派遣職員の能力を生かし、体制の強化を図る。</p> <p>(実績) 若手プロパー職員へのきめ細かな指導等により能力アップを図った。当協会の事業は広域行政機関に類似した部分が多く、県職員等の経験・知識を事業展開に繋げた。</p>	<p>(計画) 県派遣職員の能力を生かし、県や市町村観光協会との連携強化や、プロパー職員の能力向上などを進めて行く。また、今後の人員配置のあり方についても、県と協議しながら検討していく。</p>
	財政支出見直し	補助事業・委託事業の内容・積算見直し	<p>(計画) 県の補正予算等を受けて実施する新型コロナウイルス感染症に係る支援事業については、緊急性が高いことから迅速に実施する。既定事業については、新型コロナウイルス感染症の状況等を見極めながら、県等と協議の上、事業実施の可否の判断及び事業の内容・支出の見直しを行う。</p> <p>(実績) 旅行需要を回復するため、県民向けの県内宿泊等の割引支援や、県内限定で使用できるクーポンを発行する「ジモ・ミヤ・タビキャンペーン」の実施など、新型コロナウイルス関連事業にスピード感を持って取り組んだ。</p>	<p>(計画) 県の補助事業として実施する新型コロナウイルス感染症に係る支援事業については、迅速かつ円滑に実施する。既定事業については、ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、県等と協議の上、事業実施の可否の判断及び事業の内容・支出の見直しを行う。</p> <p>(実績) 新型コロナにより大きな影響を受けた観光関連産業の回復を図るため、県から補助を受けながら、「ジモ・ミヤ・タビキャンペーン」の実施などに取り組んだ。</p>	<p>(計画) コロナ後を見据え、今後の観光関連産業支援のあり方等について県と協議を行い、事業の内容や規模等について見直しを行う。</p>

④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	<p>(計画) インターネットを活用した情報発信の強化、国内交通機関と連携したプロモーション等により情報発信を充実させる。本県への旅行意欲を喚起させるための効果的なデジタルプロモーションを実施する。</p> <p>(実績) 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」へのきめ細かな情報掲載、インスタグラムを活用したハッシュタグキャンペーンの実施、国内交通機関と連携したプロモーション等、ターゲットに合わせた手法を工夫しながら、効果的な情報発信に取り組んだ。</p>	<p>(計画) 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」やインスタグラムなどのSNSを活用し、市町村と連携した観光情報発信を充実させる。また、シーズン毎の魅力発信や誘客プロモーションの実施、外国語サイトでの情報発信を強化する。</p> <p>(実績) 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」やインスタグラムなどのSNSを活用し、本県の観光情報を発信した。また、「旬ナビ」に、協会の定款、事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開に努めた。</p>	<p>(計画) 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」について、より検索されやすいサイトにするためにリニューアルを実施する。また、引き続き協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開を図る。</p>
---------	-----------------	--	--	---

	(人)	令和4年度				令和5年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	26	1	4	21	26	1	4	21
	常勤	2	0	2	0	2	0	2	0
	非常勤	24	1	2	21	24	1	2	21
	職員数	27	5	6	16	23	5	5	13
財政支出等	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	779,917	4,868,817	9,134,113	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	25,584	25,809	26,445	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和4年度	令和5年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	ジモ・ミヤ・タビキャンペーン事業	旅行需要を回復するため、九州在住者向けの県内宿泊等の割引支援や、県内限定で使用できるクーポンを発行	4,785,088	0	補助金
②	観光みやざき回復支援事業	旅行需要を回復するため、国内在住者向けの県内宿泊等の割引支援や、県内限定で使用できるクーポンを発行	2,896,532	3,366,404	補助金
③	観光客誘致促進事業	国内外からの観光誘客促進のためのセールスプロモーション、モニターツアー、広告宣伝・情報発信等	963,416	857,838	補助金
④	観光みやざき緊急誘客促進事業	県内旅行キャンペーンの平日の利用者にクーポンを追加付与	253,097	0	補助金
⑤	スポーツランド推進事業	スポーツイベント等開催支援、スポーツキャンプ合宿誘致・受入体制整備	97,280	104,011	補助金

実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 国内外の観光客、MICE及びスポーツイベント等の誘致及び受入支援 ② MICE主催者に対する支援 ③ 観光、MICE及びスポーツイベント等の広報及び宣伝、調査及び企画・開発 ④ 観光、MICE及びスポーツイベント等の誘致に必要な観光関連施設を運営する者に対する支援
------	---

活動指標	指標名	算式(単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	観光入込客数	(千人回)	16,100	12,691	78.8%	12,680	13,950
②	MICE参加者数	(延人)	240,000	43,279	18.0%	103,200	148,800
③	スポーツキャンプ参加者数	(延人)	205,000	168,403	82.1%	177,400	201,600

指標の設定に関する留意事項	指標①については暦年の数値。
---------------	----------------

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
経常収益	842,811	4,919,261	9,193,640	資産	505,695	441,846	2,992,461
経常費用	843,112	4,919,579	9,192,948	流動資産	212,909	149,580	2,700,010
当期経常増減額	-301	-318	692	固定資産	292,787	292,265	292,452
経常外収益	0	0	0	負債	183,506	119,974	2,669,897
経常外費用	0	0	0	流動負債	180,287	117,277	2,667,025
当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	3,219	2,697	2,873
当期一般正味財産増減額	-301	-318	692	正味財産	322,190	321,872	322,564
一般正味財産期首残高	40,042	39,741	39,423	指定正味財産	282,449	282,449	282,449
一般正味財産期末残高	39,741	39,423	40,115	(うち基本財産への充当額)	280,000	280,000	280,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	2,449	2,449	2,449
指定正味財産期首残高	282,449	282,449	282,449	一般正味財産	39,741	39,423	40,115
指定正味財産期末残高	282,449	282,449	282,449	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産期末残高	322,190	321,872	322,564	(うち特定資産への充当額)	6,356	6,356	6,356

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式 (単位)	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
			目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値	
①	自己収入比率	(基本財産運用収入+自己収入+自主事業収入) / 当期支出合計 × 100 (%)	20.0	0.5	2.5%	20.0	20.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	(5,088千円+35,332千円+3,099千円) / 9,192,948千円 × 100						
②	自主事業比率	自主事業 / 当期支出合計 × 100 (%)	60.0	99.8	166.3%	-	-	
	※ 令和4年度 実績値の算式	9,173,306千円 / 9,192,948千円 × 100						
③	管理費比率	管理費 / 当期支出合計 × 100 (%)	25.0	0.2	199.2%	25.0	25.0	
	※ 令和4年度 実績値の算式	19,642千円 / 9,192,948千円 × 100						
指標の設定に関する留意事項		自主事業比率については、令和5年度以降は財務の健全性に関する指標である「流動比率」に変更予定。						

直近の県監査の状況	令和4年度包括外部監査（令和4年7月27日から令和5年3月15日）において公社への指摘事項はなかった。
-----------	---

総合評価	公社等自己評価	<p>コロナ禍により大きな打撃を受けた観光関連産業を支援するため、県と連携しながら「ジモ・ミヤ・タビキャンペーン」や「みやざき旅行支援割キャンペーン」、教育旅行の促進、スポーツ合宿の補助対象拡大などに取り組んだほか、コロナ後を見据えた稼ぐ観光地づくりなどを推進した。これらの取組のため、県からの補助額が大幅に増加し、自己収入比率が悪化している。今後、賛助会員の確保など自主財源の増加させる取組を進める必要がある。</p>				県所管部課 二次評価	<p>コロナ禍の影響により活動指標が目標値を下回っているが、旅行キャンペーン運営など、観光業の復興に必要な事業を迅速かつ効果的に実施できたことは評価できる。 財務について、自主事業比率及び管理費比率は目標値を上回っているが、コロナ対策事業等で事業費が増大したため、自己収入比率は目標値を下回っている。今後、賛助会員確保のための取組等をより一層推進していく必要がある。</p>			
	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	B	B	B		B	B	B	B
	目標達成度					公社等改革推進委員会 三次評価	<p>活動内容について、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、指標の目標値を下回っている状況であるが、昨年度よりも実績は上がっており、また、県と連携した観光関連事業に多数取り組んでいることは評価出来る。 財務内容については、自己収入比率について目標値を大きく下回っており、県からの補助等以外の自己収入確保に向けた取組の強化が求められる。 コロナ関連事業費は今後減少の傾向が見込まれるが、アフターコロナ期においても、本県の観光産業の振興に向けて、関係団体と連携した取組の実施が求められる。</p>			